



PTA新聞 おきなわ



令和3年度 沖縄県PTA世帯数 124,240 ～子ども達の笑顔あふれる社会へ～

沖縄県小中学校児童生徒のみなさんへ

長引くコロナの影響で、みなさんの学校生活も思い切り楽しめない状況にあり、私たち親にとってもものすごく心が痛く、日々の生活に気を付けることしか出来ないことが、大人として申し訳なく思います。

今みなさんは、私たち大人がみなさんと同じ年代に味わったことのない状況にいます。この状況で今、私がみなさんに伝えたいことは、今の状況を不幸と捉えるか、新しい世界と捉えるかで、将来が大きく変わってくることです。おそらく世界中の人々が初めて体験しているコロナ禍、今できることに集中し、力を注ぐことでみなさんの将来が大きく前進するものと思います。どのような状況にあっても出来ることはあると思います。それに全力で取り組んでみてください。

私たちはみなさんの成長を楽しみにしており、全力でみなさんを支えていきます。



沖縄県PTA連合会
伊禮 靖 会長

新たな社会課題を乗り越えようとする「大人たちの姿」から学び取ってほしい



沖縄県中部病院
高山 義弘 医師

この2年間。未知の感染症が流行するなかで、大人たちが悪戦苦闘しながら立ち向かっています。上手くいったこともあれば、無駄や対立もありました。

こうした未知の（＝答えのない）問題に、どう向き合うのかが、真の知性だと思います。そして、知性のもとに団結できるかが社会に問われています。大人たちがどうしているか、よく見て、ときに批判的に学び取ってください。

人類は、自然の脅威に繰り返し直面しながら、科学技術の発展によって乗り越えてきました。自粛や適応ではありません。いかに技術を使いこなすかにも注目してください。

<目次>

表紙	… 1P
コロナ禍での各学校の取り組み	… 2～3P
中部病院 高山先生へのインタビュー	… 4～9P
PTAモバイルに変えてみました	… 10P
初日の出・編集後記	… 11P



発行（一社）沖縄県PTA連合会
〒900-0002 那覇市曙2-26-27
TEL (098) 867-3582
FAX (098) 867-0309
責任者 伊禮 靖



【電子黒板を活用した読み聞かせ】

とよみ小学校（豊見城市）

事前にパワポで音声入り絵本の動画を作成し、全学年に朝の読み聞かせを配信しています。試行錯誤での取り組みでしたが、「大きな画面で見れるので楽しい」と、子どもたちにも大好評！今では、図書委員さんとも連携して、毎月の絵本を選んでいきます！



コロナ禍での各学校の取組 Part2

この2ヶ年余りに及びコロナ禍において、各単位PTAにおいて様々な工夫・活動を行っていること、また、本連合会広報紙・第490号に紹介されていた学校以外にも、様々な対策を施し活動を行っているということも聞こえており、皆さまの活動を止めない情熱に感服しきりであります。

未だ先の見えない状況にありますが、少しでも子どもたちが未来を見いだせるような活動を続けていだけるよう、本連合会としても支援をしてみたいと存じます。



上本部学園（上本部幼稚園・小学校・中学校）



【リモート配信】

小中一貫校として校舎を新設し運動場も完成して、初の運動会で開催はされたものの自粛期間の為、応援に来られない方にも「リモート配信」を広報部で実施し児童・生徒を激励することができた。呼名の部分はミュートにし、閲覧期間を限定し、個人情報等の配慮に工夫した。

【読み聞かせボランティア】

十数年続く毎週金曜朝のお楽しみも、コロナ禍で中止となっていたが、読み聞かせの録画を撮りためて、プロジェクターを活用して各教室で実施した。



【絵本の読み聞かせ講座】

絵本の読み聞かせ講座をzoomで開催し、保護者のスキルアップや交流に役立てた。



城西小学校（那覇市）

【しおりの会オンライン読み聞かせ】



【すたんぶま〜い】

感染対策した校舎で、学校の歴史や地域サポートを学ぶスタンプラリーを開催しました。

城北中学校（那覇市）



【オンラインによる生徒会行事】

生徒会主催オンラインによる各学年の親睦会を実施。

【正門前イルミネーション】

子どもたちの笑顔が見たくて、PTA役員・地域青少協と合同で正門で飾りました☆生徒の前をイルミネーションちとても喜んでくれました



安岡中学校（那覇市）

南風原小学校（南風原町）



【文教講座】

文教委員会ではzoomを使ったオンラインでの講座を開催しました。今年度は「体軸ワークショップ」「数秘術」「お小遣い講座」を行いました。

与儀小学校（那覇市）



【読み聞かせ団体スイミー】

令和3年10月、ようやく再開！子供たちの笑顔は、やっぱり素敵！

安謝小学校（那覇市）



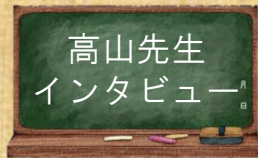
【夜の学校探検】

コロナが落ち着きつつあった昨年末... 感染対策を行い6年生の学年レクを行う事ができました。ドキドキハラハラの夜の学校探検で、小学生最後の思い出作りができたと思います。



【校内童話お話大会】

12月15日に校内童話お話大会を開催することが出来ました！子ども達の頑張って発表する姿を見ることができ、大人も感動した大会になりました。



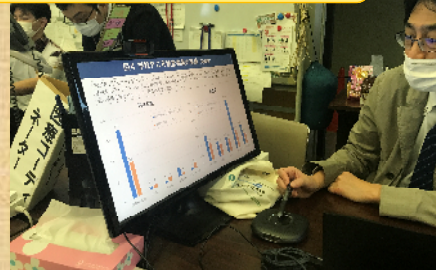
2022年3月4日に沖縄県コロナ対策本部の政策参与として、県行政に対策のアドバイスをされている沖縄県立中部病院の高山医師へインタビューを実施しました。医療の最前線に立たれている高山先生からの沢山の貴重なお話を頂きましたので紹介いたします。高山先生、私たち県民のためにいつもありがとうございます。また、お忙しい中、笑顔でインタビューにお答えいただきありがとうございました。



第7波は必ず来る。そこでどうするか、話し合った方がいい。沖縄では、まだ十分に話し合っていない。

有史以来、人類が危機を乗り越えてきたのは科学技術の発展だった。今回も病原体検査、治療薬、ワクチンという科学技術に支えられている。ところが、検査体制が脆弱で治療薬もワクチンもなかった頃の考え方に縛られていないか？ 私たちは科学技術を使いこなせているだろうか？ ただし、科学技術を妄信すると大きなしっぺ返しを受けることもあった。刻々と進むパンデミックへの対応から、子どもたちは学び取ってほしい。

3月4日夕方、沖縄県庁講堂の対策本部内にてインタビュー実施



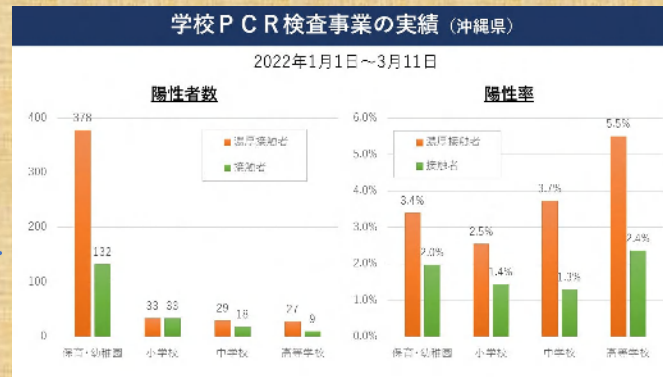
社会活動を行うことは当然リスクがある。それでもどう社会を回すかを考える必要がある。人が集まる場所では感染が起こりうる。マスクを着けていれば大丈夫というわけではない。それでも人が会うことには大切な意味がある。教育はもちろん、福祉、文化、スポーツ... すべて人が会うことで成り立っている。

オミクロン株はやはり感染力が強いようだ。人の動きが活発になって広がったかといえばそうではない。第6波の拡大はオミクロン株の感染力の強さが最大の理由。とくに子どもへと感染が拡がりやすかった。その一方で、ワクチン接種が進んだこともあり高齢者の死亡はかなり減少した。

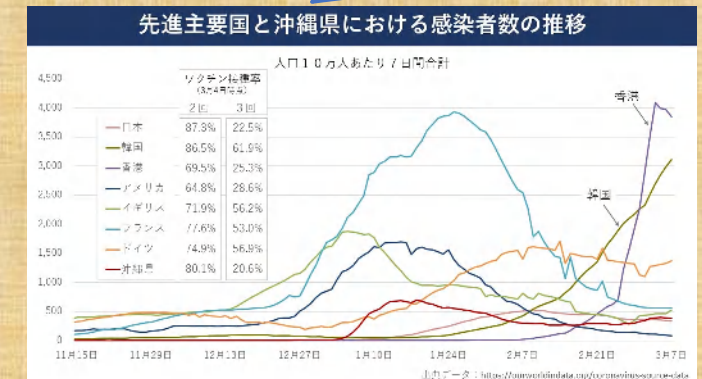
「会食を控える」という従来の考え方では、オミクロン株への対策としては不十分であり過剰でもある。ウイルスの変異と技術の進展に合わせて、常に新たな対策を模索する必要がある。

一斉休校、分散登校、部活制限は有効なのか？ それにより達成される目標とは何か？ 学びのゴールは？ 1ヵ月なら許容されるかもしれないが、断続的に続いている。長期化することを含めて、合意形成されているか？

学校PCR検査事業のデータでは、濃厚接触者とその他の接触者の陽性率はあまり変わらない。学校に関しては、濃厚接触者の定義は妥当とは言えない。ただ、広げると今度は教育が止まる。落としどころは？ 昨年5月から、クラス全員へのPCR検査を事業化してきたが、濃厚接触者への出席停止ではなく、陽性者は休む、陰性者は登校、そういった対応を検討していくべきだ。



感染対策の方針について一方的に決めるのではなく、当事者と相談しながら考えていくのが望ましい。成人式、学校行事の当事者とは誰か、その当事者と相談することなく、中止や延期の決定をしていないか。相談して理解や納得が得られなければ、感染対策は建前だけになってしまう。当事者がどうしたいかを確認し、できる方法を一緒に考えるのが行政の役割ではないか？ また、医療の役割は患者に制限をかけることではなく、患者の生き方を支援すること。



■ 新たな社会課題を乗り越えようとする「大人たちの姿」から学び取ってほしい

この2年間。未知の感染症が流行するなかで、大人たちが悪戦苦闘しながら立ち向かっています。上手くいったこともあれば、無駄や対立もありました。子どもたちから見ても、納得のいかないことがあったと思います。こうした未知の（＝答えのない）問題に、どう向き合うのが、真の知性だと思います。そして、知性のもとに団結できるかが社会に問われています。大人達がどうしているか、よく見て、ときに批判的に学び取ってください。人類は、自然の脅威に繰り返し直面しながら、科学技術の発展によって乗り越えてきました。自粛や適応ではありません。いかに技術を使いこなすかにも注目してください。そして、科学技術への謙虚さを示すこともまた、社会の暴走を抑止する大切な装置です。





保護者からの質問

①オミクロン株について

質問) 新型コロナウイルスについてオミクロン株になり、弱毒化していると言われてますが、実際に感染した方の症状はどうでしょうか？

新型コロナウイルスの症状には個人差があります。

ただし、一般に若者は軽症であり、高齢になるほど重症化しやすくなっていきます。また、ワクチンを接種している人や過去に感染したことがある人も重症化しにくいと考えられています。

オミクロン株になって弱毒化したと言われますが、ワクチン接種や既感染の影響も考慮する必要があります。また、若者でも咳が続いたり、匂いが分からなくなったりという後遺症があり、新型コロナの問題は重症度だけではなくあります。

④後遺症について

質問) 10代未満や10代は感染しても症状が軽いと言われてますが、若い人達は後遺症に対して危機感が無い感じがしますので、その年代で後遺症になっている人の症状について教えてください。

後遺症とは、新型コロナウイルス感染症から回復したにもかかわらず、およそ4週間以上が経過しても、症状が長引いたり新規の症状が出現することを指します。一般的に10～30%が後遺症を経験し、3か月以内に回復することが多いとされますが、1年以上にわたって苦しめる方もいます。

質問) 知り合いに新型コロナウイルスに感染して半年が経っても頭痛や倦怠感などの後遺症で苦しんでいる人がいますが、沖縄に後遺症を診察してくれる病院はありますか？

沖縄県内には、後遺症を専門に対応する医療機関はありませんが、症状に応じて、それぞれの診療科を受診してください。

たとえば、咳が続くようでしたら呼吸器内科、集中力の低下やめまいが続くようでしたら神経内科、耳鳴りや嗅覚に異常があるなら耳鼻咽喉科を受診します。

症状が漠然としていて、どの診療科を受診すれば良いかわからないときは総合内科を受診されることをお勧めします。

⑤部活動のリスクや対策について

質問) 部活動やスポーツ少年団の活動でのリスクはどの程度あるのでしょうか？練習時に保護者や指導者は何をどこまですべきでしょうか？

スポーツの種類や練習内容にもよりますが、マスクを着用せずに互いに密着するスポーツは、新型コロナウイルスへの感染リスクを高めます。リスクを完全に回避するためには、個人練習のみしか認められなくなりますが、いくつかの対策を組み合わせることで、対人練習においてもリスクを減らしていくことは可能です。

もっとも大切なことは、症状のある人が練習を休むことです。

また、一定の流行が地域で起きているときは、練習のとき以外の感染予防を心がけましょう。具体的には、友人たちとの会食を控え、個人の家に集まって談笑したり、ゲームをしったりということも避けること。人混みでのマスク着用を心がけ、公共の場を訪れた後は手指衛生を行います。

チーム全体で感染対策を行っていれば、対人練習でのリスクは大きく減らせると思います。

ただし、地域流行の規模が大きくなり、学校内でも感染者が増え始めている状況では、一旦、部活動を休止することも検討してください。また、多人数が集まるような対外試合にあたっては、事前に参加者の検査陰性を確認するか、地域流行が収まるまで延期することをお勧めします。

⑥休校措置の効果について

質問) 休校措置の効果について教えてください。

休校措置は、感染拡大予防のひとつの方策です。とくに、クラス内で感染者が多発しており、接触者が多数となっている場合には、1週間程度の学級閉鎖をすることに意義があると考えられます。

一方、地域で流行していて、学校内で流行していない場合には、学校内で適切な感染対策がとられるのであれば、必ずしも休校措置が必要になるとは言えません。新型コロナウイルスについては、現行の学校における感染対策は有効であり、集団感染はほとんど発生していません。



保護者や先生方、部活動指導者からの疑問や質問をまとめ高山先生に質問しました。

インタビュー時は時間が足りず、後日、1つ1つの疑問に丁寧に回答いただきましたので2枚に分けて紹介いたします。

沖縄は毎回、全国よりも一足早く流行が発生してきたため、手探りのことも多く、沖縄が最初に対策や対策の見直しを行い、県外の参考になることもいくつかあったそうです。県民の命と健康を守るため、日々、奮闘されている高山先生や対策本部の皆さま、医療関係者の皆様に感謝します。(文責:荒木正隆)

②子どもたちへのワクチン接種について

質問) 小学生へのワクチン接種の必要性について教えてください。

病気にならないにこしたことはありませんが、ワクチンを接種することで具合を悪くすることもあります。接種するかどうかは、一律に決められることはありません。持病があるお子さんであれば、接種すべきかどうかを主治医に相談することをお勧めします。

高齢者と同居しているお子さんが、家族を守るためにワクチン接種に協力することも考えられます。その場合、感染予防効果は完全ではなく、効果も5か月後には低下していくことも含めて検討してください。

いずれにせよ、接種による利益が少ない子どもへワクチンを接種することよりも、同居する家族、学校や塾の先生、保育従事者など、周囲の大人たちからワクチンを接種いただくことが先だと思います。

③3回目接種について

質問) 3回目接種は、学生や子育て世代にも必要でしょうか？安全性を不安視する話も聞いたりするのですが、実際はどうなのでしょう？これから毎年打つことになるのでしょうか？

回答) 持病や肥満のある方、妊婦など若い世代でも重症化する恐れがあります。こうした方々にとっては、ワクチン接種による利益が、ワクチン接種によるリスクを上回ると考えられます。

今後、新型コロナウイルスがどのような病原性で流行を繰り返すのか、予測することは難しいですが、流行が続く限りは、こうしたハイリスク者については、定期的にワクチンを接種することになる可能性があります。ただし、ワクチン接種を繰り返すことや自然感染を経験することで、免疫記憶が長期化することが考えられます。

よって、ワクチン接種の間隔は伸びていくことが一般的です。

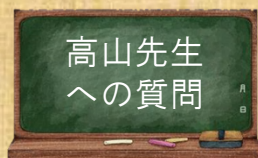
⑦今後のコロナ禍について

質問) 子どもたちに色々と我慢をさせている今の状況はあとどれくらい続くのでしょうか？何か明るい兆しはありますか？

新型コロナウイルスの流行は繰り返されていますが、重症化予防効果の高いワクチンが普及し、飲み薬も含めて治療薬も選択できるようになりました。また、当初は脆弱だった検査体制も、かなり拡充しています。

こうした科学技術と日ごろの感染対策を組み合わせることで、少しずつ制御されるようになってきました。

ただし、いつも微生物は私たちの裏をかくようにして、勢力を盛り返してきます。決して侮ることなく、それぞれに対策を進めていくことが必要です。自然災害や気候変動など、自然は私たち人類に制限を加えてくるものです。しかし、それを乗り越えることで人類社会は発展してきました。コロナが消え去ることを祈るよりは、乗り越える未来を創りたいと思います。



学校現場からの質問

①教師による放課後の消毒作業について

質問) 放課後に行なっている、消毒作業の有効性(トイレ、児童の卓や椅子)についてお聞かせください。また、やらない場合のリスクはどうなりますか？

米国CDCは、環境表面の消毒に関する科学ブリーフィングにおいて、

「環境表面からの感染リスクは、直接接触、飛沫感染と比較して極めて低い。汚染された環境表面への接触による感染は、感染機会全体の1万分の1未満である。」としており、

環境表面の1日1〜2回の消毒は、感染リスクの低減にほとんど影響しないというのが多くの専門家の共通の理解となっています。

むしろ、汚染されている可能性の高い表面(トイレなど)に触れたあとに、各々が手指衛生を心がける方がリスクを軽減するものと考えられます。

<https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/more/science-and-research/surface-transmission.html>

②マスク着用の重要性について

質問) マスク着用に対するクレーム電話の対応を度々受ける。マスクの重要性を説明できる科学的根拠はありますか？

マスクを着用することで、新型コロナウイルスの感染が予防できることは、多くの研究によって科学的な根拠が示されています。

マスク着用による予防効果には2つあります。ひとつは、感染している人が飛沫をまき散らして周囲に感染させないため。もうひとつは、その飛沫を吸い込んで自分が感染しないためです。この2つの効果は相補的であり、相乗効果も期待できるため、集団のマスク使用率が上がれば上がるほど、その集団全体の予防効果が高まります。

詳しい科学的な根拠については、米国CDCの科学ブリーフィングをご参照ください。

<https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/science-briefs/masking-science-sars-cov2.html>

③登校時の検温について

質問) 毎朝、登校時に検温を実施していますが、寒い日は正確な検温ができていないと感じる日も多かったです。34度35度がほとんど) 児童玄関で非接触による検温の有効性について医師としての見解を聞かせてください。

検温により新型コロナウイルス感染者を捕捉することは難しいです。たとえば、那覇空港ではサーモグラフィを設置して、毎日1万人以上の検温を行っていますが、過去2年間で一度も感染者を発見できていません。

本来、体調確認とは各家庭で行うべきものです。登校に限らず、塾に行くとき、友人と遊ぶとき、買い物に行くときなど、子どもが外出する理由は様々です。症状があるなら外出しないを原則とすべきです。

学校でのみ検温することで、家庭での体調確認を省くことになってしまったのは、そうした衛生習慣が確立できない恐れがあります。このため校門での検温については、実施することを否定はしませんが、発熱の有無に限ることのない体調確認が家庭で行われるように進めてください。

④入学式の感染リスクについて

質問) 入学式に保護者2名が参加しての開催を予定しています。入学式のリスクはどの程度ありますか？

会場の換気を徹底(二酸化炭素濃度 1000ppm以下を維持)したうえで、すべての参加者がマスクを正しく着用してください。さらに、入り口で手指衛生を行い、トイレなど共用の場所でも手指衛生を心がけ、同居家族を除き相互に1メートルの距離を空けて着座してください。このような対策がとられていれば、入学式における感染リスクは高くはありません。

なお、症状のある方が出席しないことは大前提です。

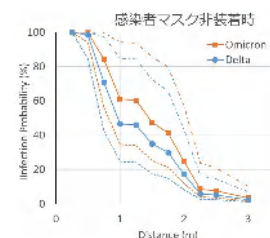


<広報委員会からの補足>

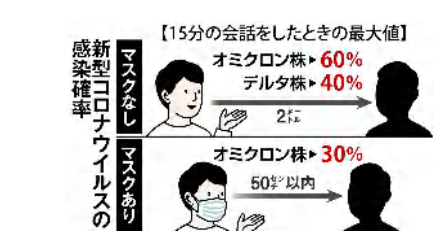
マスクの有効性については、富岳のシミュレーション結果なども公表されています。

あくまで、計算上の解析結果なので実際の疫学調査などの結果とは完全には一致しませんが、

ご家庭でマスクの有効性について考えるには参考になるとと思います。(文責: 荒木正隆)



出典: IT media NEWS: 2022/2/2 18:07 配信



出典: 産経新聞ニュース: 2022/2/2 15:48 配信



2021年10月より開始したPTA会員向けの通信サービス
PTAモバイル。
今回は、伊禮会長のご家族の契約内容をご紹介します。
24GBプランが2,178円/月(税込み)とお得な上、PTA会員向け
に最大3ヶ月間基本料金100円/月となっております。



PTAモバイル
について



PTAモバイルに変えてみました。

	変更・新規	プラン	料金	備考
ご本人	MNP	4GBプラン 15分かけ放題	3,135円	自宅Wi-Fiあり 通常電話使用
奥様	MNP	24Bプラン	2,178円	自宅Wi-Fiあり アプリで電話
お子様	MNP	24GBプラン	2,178円	自宅Wi-Fiあり アプリで電話
お子様	新規契約	24GBプラン	2,178円	自宅Wi-Fiあり アプリで電話
4回線合計			9,669円	

固定費を見直して
暮らしにゆとりを！

沖縄県PTA会員様限定！
通話も可能な
音声SIMプランが
最大3ヶ月間
基本料金100円/月

PTAモバイル 始めてみませんか？

音声SIMプラン	契約初月無料	2ヶ月目	3ヶ月目	4ヶ月目以降
4GB	→	110円/月	110円/月	1,760円/月
24GB	→	110円/月	110円/月	2,178円/月
40GB	→	110円/月	110円/月	4,246円/月
80GB	→	110円/月	110円/月	5,346円/月

8分かけ放題オプション +770円/月
15分かけ放題オプション +1,375円/月
30分かけ放題オプション +2,178円/月
フルカガホ オプション +2,200円/月

※本サービスは、SIMカードの契約で
端末は、別途準備が必要です。
※1年以内での解約では解約手数料
6,600円がかかります。
※契約手続きは、インターネットで
行います。
※ポケットWi-Fiを使用したい方には
大容量100GBで4,980円のサービス
世界Wi-Fiもあります。

沖縄県PTA連合会 TEL:098-995-8039 MAIL:oki.pren@gmail.com
〒900-0002 沖縄県那覇市瑞 2-26-27 営業時間:10時～20時(定休日:1月1～3日)

契約の流れ

○MNP（モバイル・ナンバー・ポータビリティ）を利用する場合

1. 現在利用しているキャリアにMNPの申し込み後、MNPの予約番号を取得する
 2. 予約番号取得後、翌日までに県P連ホームページの申し込みフォームから申し込み
 3. 申し込みに不備がなければ申し込み完了のメールが届く
 4. その後1週間～10日ほどでSIMカードが届く
 5. SIMカードと同封されている書類に従ってスマートフォンを設定
- ※ MNPの予約期間が15日間、PTAモバイル申し込みからSIMカードが届くまで
10日間程度かかることから、MNP予約後翌日までには申し込みをする。
- ※ 現在使用中のスマートフォンを使用する場合、SIMロック解除をしておく
・SIMロック解除については、各キャリアホームページで確認してください

○新規契約の場合

1. 県P連ホームページの申し込みフォームから申し込み
2. 申し込みに不備がなければ申し込み完了のメールが届く
3. その後1週間～10日ほどでSIMカードが届く
4. SIMカードと同封されている書類に従ってスマートフォンを設定

実際には、日曜日にPTAモバイル申し込みをして、木曜日にはSIM発送メールが届き、
土曜日にSIMを手にしたそうです。電波はdocomoの回線で問題なく使えているとの事

1:16ペンギンモバイル	本人	22	2	1	1	5108	0	5108
1:17ペンギンモバイル	本人	22	2	1	1	3733	0	3733
1:18ペンギンモバイル	本人	22	2	1	1	3733	0	3733
1:18ペンギンモバイル	本人	22	2	1	1	3733	0	3733

<1か月目の請求書>
1名：基本料金0円、事務手数料+15分かけ放題
3名：基本料金0円、事務手数料

2:7ペンギンモバイル	本人	22	3	1	1	1485	0	1485
2:7ペンギンモバイル	本人	22	3	1	1	110	0	110
2:7ペンギンモバイル	本人	22	3	1	1	110	0	110
2:7ペンギンモバイル	本人	22	3	1	1	110	0	110

<2か月目の請求書>
1名：基本料金110円(税込) + 15分かけ放題
3名：基本料金110円(税込)

<伊禮会長のケース>

仕事で電話を使用し、職場にWi-Fi環境が整っている伊禮会長は4Gプランと15分かけ放題のプラン
通話もLINE等で行っている奥様と2名のお子様は大容量の24GBプラン、
家族4名で月合計9,669円と1万円以下の契約となっています。

契約1か月目は基本料金無料のため、事務手数料の請求と合わせて、家族合計16,307円(税込み)で、
2か月目と3か月目は基本料金110円(税込み)と15分かけ放題(1名分)で家族合計1,815円となっています。



本部町から



東浜から2022.01.01

初日の出に想いを込めて～ 各地区の広報部員による恒例の「初日の出」 今年も良い年になりますように！



豊見城市から



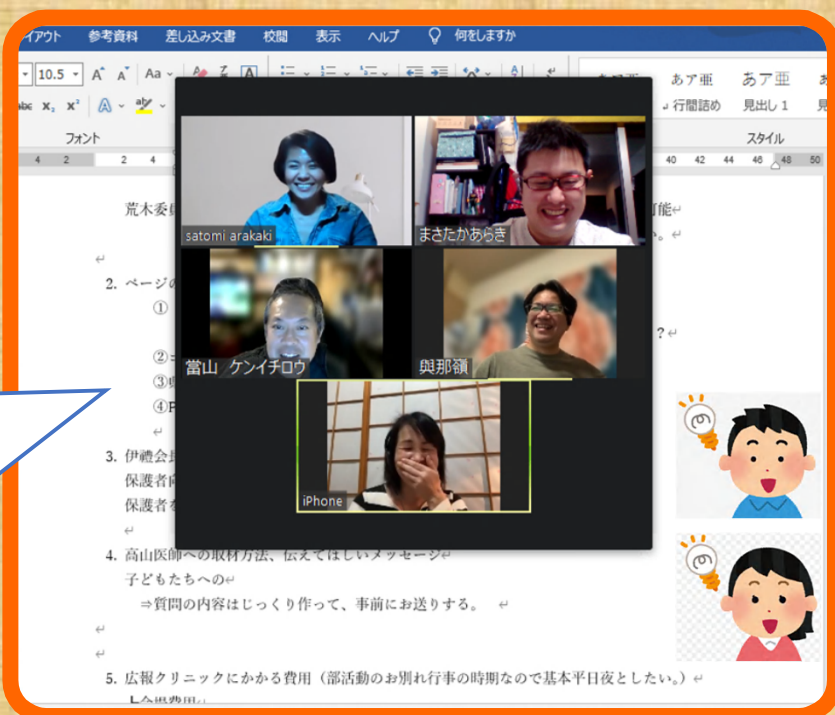
豊見城市から



コロナ禍でも広報紙が出来た！！

490号、491号の作成に向けZOOMで記事や分担について話し合い、10名のメンバーによるLINEグループの活用で連絡等を重ね、県P広報誌を作成することが出来ました。

実はまだ全員で集まれてません。



お待たせしました491号を発行いたします。
今号でもコロナ禍での各学校の取り組みを特集として紹介いたします。

また、伊禮会長、沖縄県コロナ対策本部の高山先生からの保護者と子どもたちに向けたメッセージも掲載いたしました。

年明けからの県内の感染者数の増加に伴う学級閉鎖や休校、部活動休止もある中、分散登校、リモート授業など、大変な中、日々工夫して、子ども達の学びの場を提供頂いている先生方、保護者の皆様、いつもありがとうございます。

【各地区広報委員・通信員】

国頭地区	： 仲村三七子（上本部学園PTA）
中頭地区	： 與那嶺泰弘（室川小学校PTA）
	： 富山健一郎（宮里小学校中学校PTA）
那覇地区	： 荒木正隆（港川中学校PTA）
島尻地区	： 新垣さとみ（南風原中学校PTA）
宮古地区	： 砂川葉子（下地小学校）
八重山地区	： 高良音絵（登野城小学校）

～ご協力ありがとうございました～